

事業概況

2014年3月期

決算説明会

2014年5月14日



代表取締役社長

川名 浩一

目次

1. 2014年度の受注目標

5. 中長期的な方向性

2. マーケット環境

6. キャパシティ拡大策

3. 2014年度業績目標の背景

7. 投資事業の状況

4. 業績目標達成に向けた戦略

8. 中期経営計画の進捗

1. 2014年度の受注目標

好調なマーケット環境を背景にさらなる案件の獲得へ

連結受注目標額： 8,000億円

国内受注目標額

900億円

海外受注目標額

7,100億円

2. マーケット環境

北米・アフリカ

- 複数のメガLNG、ガス化学案件計画が目白押し

中東

- 大型の石油精製・石油化学案件への積極的な投資が継続

アジア・国内

- 陸上・海上LNG案件、LNG受入基地、石油精製案件など多岐



昨年度に引き続き、好環境が継続

3. 2014年度業績目標の背景

背景

- 多くの高採算案件が完工へ
- 厳しい環境下で受注した一部案件の存在
- ハイブリッド契約案件の増加



LNG他メガ・プロジェクトのさらなる収益拡大へ

4. 業績目標達成に向けた戦略

事業分野のさらなる拡大

- FLNG プロジェクト遂行によりオフショア分野へ本格参入

変化する顧客ニーズへの柔軟な対応

- 実績をもとにしたモジュール工法のさらなる展開
- LNG分野を中心に高度な技術的改善策を提案
- 多様化したリスクプロファイルに対応した契約、現地化促進

5. 中長期的な方向性(1)

日揮を取り巻く環境の変化

マーケットの拡大

- 新興国から先進国へ地域的な広がり
- サブサハラ、ロシア・CIS地域への展開

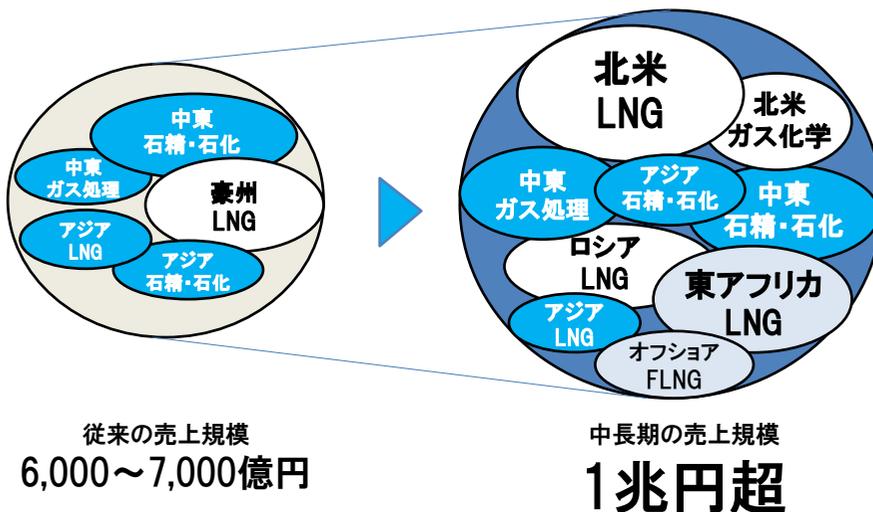
メガLNG案件が複数存在

- 数千億円規模に巨大化するLNG案件

契約形態の多様化

- ランプサム契約主体から、ハイブリッド契約の比率増大

5. 中長期的な方向性(2) - 質的・量的転換へ-



5. 中長期的な方向性(3) - 利益拡大策 -

従来の利益拡大策

- 着実なプロジェクト遂行による高粗利益率の確保



中長期的な利益拡大策

- プロジェクト遂行力にさらに磨きをかけ、メガプロジェクト遂行で売上・規模の拡大による利益拡大へ

“率”の追求から“絶対額”の追求へ

6. キャパシティ拡大策

規模拡大を図り、中長期的な成長を実現

- JGCアメリカ社の本格稼働

- 国内外EPCグループ会社の成長

- ジョイントベンチャー組成によるリソース有効活用

7. 投資事業の状況 (1)

2013年度実績

- メガソーラー(国内)
- 造船会社運営事業(ブラジル)
- 電力・蒸気供給事業(サウジアラビア)
- 病院運営事業(カンボジア)

7. 投資事業の状況 (2)

2014年度の注力分野

インフラ・都市開発事業

- 発電事業、都市開発事業、空港開発事業、医療サービス事業の案件開拓

資源開発事業

- これまでに参画した事業に注力
- 新たな優良案件の開拓

自社技術開発による新事業

- インドネシアでのJCF®事業の営業開発など

8. 中期経営計画の進捗

2016年3月期の達成に向けて総力を結集する

- 当期純利益: 目標達成に近いレベルに到達
- ROE: 10%を超え堅調に推移
- 配当性向: 連結で25%を維持

中期経営計画「New Horizon 2015」の目標数値

当期純利益	ROE	配当性向
500億円	10%以上	25% (連結)

将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

本資料に関するお問い合わせ先
日揮株式会社 経営統括本部 広報・IR部
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112
E-mail: ir@jgc.com